

決死の伊賀越えは数々の歴史小説などにも登場

著作	著者	年代	著作	著者	年代
● 信長公記	太田 牛一	1598年頃 原形成立	● 徳川家康 ― その手紙と人間	桑田 忠親	1971年
● 川角太閤記	川角三郎右衛門	1621年頃 成立	● 覇王の家	司馬 遼太郎	1973年
● 三河物語	大久保 忠教	1626年頃 成立	● 京都乙訓・山城の伝説		1977年
● 新家家譜	所司代提出文書	1650年	● 日本史	フロイス 松田毅一・川崎桃太訳	日本語訳 1977～80年
● 雍州府志	黒川 道祐	1684年	● 家康・十六武将	徳永 真一郎	1983年
● 常山紀談	湯浅常山の 随筆風史談集	1708～81年	● 波布理曾能 第4号	生野 太三郎	1987年
● 武徳編年集成	木村 高教	1741年に 幕府に献上	● 徳川家康	二木 謙一	1998年
● 前代記録 (宇治市史3 若原英式説)		18世紀前半	● 家康と伊賀越えの危難	川崎 記孝	2002年
● 徳川実記(第三巻)	江戸幕府編纂	1843年	● 近江から日本史を読み直す	今谷 明	2007年
● 徳川実記(第四巻) 将軍ごとに逸話を残す	江戸幕府編纂	1843年	● 峠越え	伊東 潤	2014年
● 徳川家康	山路 愛山	1915年	● 天下家康伝	火坂 雅志	2015年
● 徳川家康	山岡 莊八	1950～67年	● 徳川家康大全	小和田 哲男	2016年
● 本能寺の変 山崎の合戦	高柳 光寿	1958年	● 徳川家康	岳 真也	2017年 (2002年版を改題・加筆)
● 徳川家康	北島 正元	1963年	● 家康軍団に学ぶ組織論	小和田 哲男監修	2017年
● 家康伝	中村 孝也	1965年	● 奥田家伝来家系図		—
● 日本の歴史12 天下統一	林屋 辰三郎	1966年	● 小山家家譜 (京都府田辺町史内)		—
● 宇治茶師上林氏の拾頭	若原 英式	1970年	● 宇治田原町史 第一巻		—

●歴史資料 ●創作物 ●逸話集 ●伝記 ●公式史書 ●郷土資料 ●歴史文学

※一部を紹介

ボランティアガイドクラブ・観光協会 (作成協力)

[城 陽 市]	一般社団法人 城陽市観光協会	TEL:0774-56-4029
[京 田 辺 市]	京田辺市観光ボランティアガイド協会 (一般社団法人 京田辺市観光協会内)	TEL:0774-68-2801
[井 手 町]	井手町ふるさとガイドボランティアの会 (井手町教育委員会 社会教育課内)	TEL:0774-82-5700
[宇治田原町]	宇治田原いいとこ案内人の会 (宇治田原町産業観光課内)	TEL:0774-88-6638
[精 華 町]	特定非営利活動法人 精華町ふるさと案内人の会	TEL:090-8877-4991

発行元

お茶の京都 DMO (一般社団法人 京都山城地域振興社)

京都府宇治市宇治乙方 7-8 京阪宇治ビル 2F
TEL:0774-25-3239 MAIL:dmo@ochanokyoto.jp



「お茶の京都」で検索 <http://ochanokyoto.jp/>

●本マップに掲載した内容は、2020年3月時点の取材・調査によるものです。●本マップに記載のウォーキング所要時間は、分速80mで計算しています。端数の場合は、四捨五入して表記に「約」を付けてます。●本マップに記載の消費カロリーは、ウォーキングコースを歩いた場合の消費カロリーです。体重60kgの人が、分速80mで歩いた場合のウォーキング時間の総合計から算出しています。●本マップに記載のウォーキング所要時間・消費カロリーはあくまでも目安です。実際のウォーキング所要時間・消費カロリーは個人によって異なります。あらかじめご了承ください。



家康



伊賀越えガイドマップ

Kyoto

IGAGOE GUIDE MAP

京田辺市
井手町
城陽市
宇治田原町
精華町



目次

- 京田辺市 P5-P8
- 井手町 P9-P11
- 城陽市 P12-P14
- 宇治田原町 P15-P18
- 精華町 P19-P22

家康の運命を変えた「伊賀越え」

歴史上最大の事件のひとつとも言える「本能寺の変」。

この謀反には、もうひとつの物語がありました。

それが「家康の伊賀越え」です。

織田信長が自害した折、大坂堺に滞在していた家康は、自らの首をも狙われていることを知り、一度は京都に上り自刃すると主張しますが、家臣たちの説得により、自国領・三河への帰国を決意。山城・近江の甲賀・伊賀を通り、伊勢へと抜ける足掛け3日間の行程で、無事に帰還しました。

本マップは「家康の伊賀越え」にまつわる地域に残る伝承をもとに、京田辺市から井手町、城陽市、宇治田原町、さらに精華町の伊賀越えのルートや周辺の見どころスポットを紹介しています。数あるコースを歩きながら、歴史を辿り、まちの魅力を発見しましょう！

※「家康伊賀越えの道」に関する史実には諸説あり、どのルートの家康本人が通ったかは特定されていません。

伊賀越えの道 200km 全ルート



本マップは地域の方々への取材をもとに作成したものであり、ルートを特定するものではありません。



天正10年(1582) ※諸説あるうちの一説を記載したものです。

6月2日

4時	ほんのうじ へん 本能寺の変 が起こる
12時	ちややしろうじろうきよのぶ ほんだ ただかつ 茶屋四郎次郎清延 が 本多忠勝 に報を伝える
14時	家康が信長への上方遊覧の御礼に堺を発って京都へ向かう途中、本多忠勝から報を受ける
16時	家康一行、三河へ帰還するため、伊賀越えルートを選択 はせがわひでかず おんこしや 長谷川秀一 、恩顧者に連絡、道案内を依頼
20時	山中道に迷い、普賢寺の農民新八に出会い、穂谷の白井家で休息・仮寝

6月3日

~7時	農民達の案内を受け、草内の渡しに到着
8時	飯岡 小山太郎左衛門政清らに助けられ、木津川を舟で渡る
10時	山口城から新主膳正末景、市野辺出雲、奥田仁義らが出迎え、 山口城 へ
12時	山口城 にて昼食後、出発
14時	遍照院 で休息、今後の道筋・警戒・手段の相談
夕刻	国境の裏白峠を越えて近江国に入る
夜	多羅尾氏の本拠小川城に到着～宿泊

6月4日

早朝	甲賀の和田八郎定教(伊賀守惟政の弟)と合流し、小川城を出発
	御齋峠～音羽郷で音羽村の郷人一揆の襲撃を受ける
	柘植の浄土宗平庸山徳永寺で休憩
	「山賊のすみか」といわれる加太峠を通過
	関・木崎町の瑞光寺に到着、しばし休憩
21時	白子浜に到着～舟で伊勢湾を渡る
	三河大浜港～三河岡崎城に到着

【本能寺の変】 京都本能寺に滞在していた織田信長を家臣・明智光秀が謀反を起こして襲撃した事件。

【茶屋四郎次郎清延】 豪商茶屋家の初代当主。伊賀越えの際には、山賊に金を渡して家康を守った。

【本多忠勝】 家康に仕え、三河一向一揆、姉川の戦い、長篠の戦いなどで戦功をあげた。徳川四天王の一人。

【長谷川秀一】 信長の家臣。家康一行の案内を買って出て、河内国から山城国、近江国を経て伊賀国へと抜ける道程を説明した。また、護衛の兵を要請し、山口城主の山口甚介に書状を送り草内の渡しへの渡河を助け、山口城へと一行を導いた。

【山口城】 信長の家臣 山口秀康が築いた山城国 田原郷(宇治田原町)の城。家康が伊賀越えの最中に、休憩を取ったと伝わる。

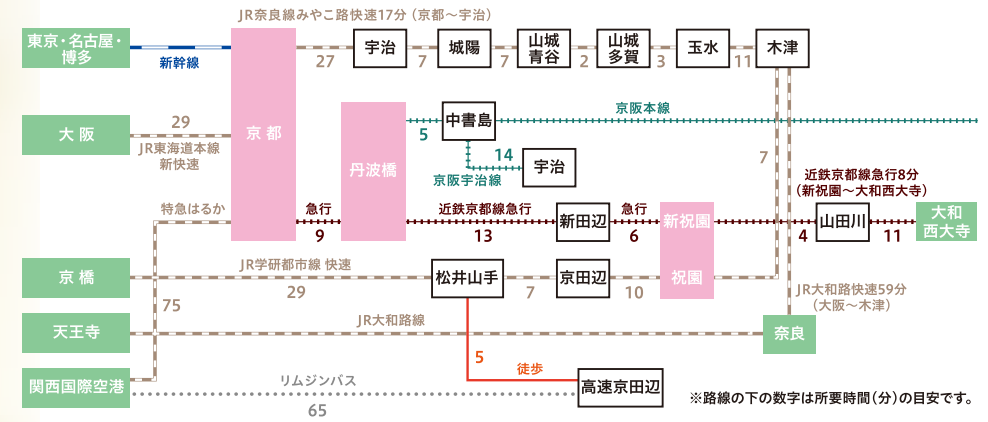
【遍照院】 元亀元年(1570)建立。境内に紅梅の古木や無縫塔があり、見学者も多い。

京都伊賀越え全体マップ



- 新幹線
- JR線
- 京阪電車
- 近鉄電車
- 京都市営地下鉄
- 高速道路
- 国道・府道

交通アクセス



楽しく安全に歩くためにはしっかり準備を

- 本マップなどを参考に、目的地、歩くコース、タイムスケジュールなど、事前に計画をきちんと立てましょう。
- 本マップに書かれている時間は、平均的な目安です。参加者の経験などを考慮して、無理のないコースを選びましょう。
- 天候の変化や、参加者の体調などによっては、計画の変更や緊急時の退却ルートが必要になることもあります。スタート前に、退却ルートもチェックして、計画しましょう。
- 山の天気は変わりやすいので、空の様子や気温の変化などに注意しながら行動しましょう。
- 必要と思われる量より、多めの食糧や水分を用意し、ゴミは持ち帰りにご協力ください。
- 暗くなる前に帰れるような計画を立て、ウォーキングに適した服装・靴で出発しましょう。



ボランティアガイドと歩くのもおすすめ

本マップに登場する各市町のボランティアガイドクラブや観光協会では、個人・団体のガイド付きウォーキングの申込受付を行っています。伊賀越えの道に関する伝承や地域の魅力をより詳しく知ることができる「ウォーキングガイド」の同行を希望される方は、裏表紙に掲載している各団体へお問合せください。※日程によってはお受けできない場合があります。※ガイド料金は各団体により異なります。

歩いて知ろう!「お茶の京都」

美しい茶畑が広がる京都府南部・山城地域。家康が伊賀越えの折に歩いたであろうこの地域は、約800年にわたり、日本のお茶のトップブランド「宇治茶」を生み出してきました。日本のお茶の歴史やお茶文化をより身近に感じていただきたい。そんな思いで、この地域を「お茶の京都」と名付け、現地でのイベントや交流などの情報をWEBサイトで発信しています。「お茶の京都」<https://ochanokyoto.jp>

